

中学年分科会提案

目指す児童像

できる実感を味わい、運動に意欲的に取り組む児童

仮説

どの子も無理なく、できる実感を味合うためのスモールステップの場の工夫や安全面・安心感を考慮した場の工夫を考えた。また、毎時間、技を習得するための基礎となる予備運動を指導計画に取り入れたことで中学年が目指す児童像に迫ることができるであろうと考えた。

1. 児童の実態

昨年度の体育の研究で「マット運動」に取り組んだ。そのため腕支持感覚や顎だし感覚が身についてきている。しかし、運動経験（外遊びなど）がほとんどない児童も数名おり、動きの習得や高まりに大きな差が見られる。いわゆる二極化が見られた。技ができる喜びを感じ、できない技に積極的に取り組む児童と自信や勇気がなく新しいことに挑戦できない消極的な児童が各クラスに数名見られる。

2. 研究主題に迫るための手立てと工夫

(1) 準備運動の工夫

跳び箱運動の単元に限らず、別の単元においても以下のものを行うようにした。

- ケンパー・ケングー⇒跳び箱の踏切を両足で行う感覚作り
- スキップ⇒ホップ側転へのスムーズな移行
- カエルの足打ち⇒腰を高く上げる感覚や顎を出す感覚作り
- ねこちゃん体操

(2) 指導計画の工夫

台上前転・首はね跳びにつなぐために、毎時間以下の運動を取り入れた。

- ねこちゃん体操のアンテナ・アンテナからのブリッジ、ふーはっ！
- 回転系横跳び越し

(3) 豊かにかかわらせるための指導の工夫

体育学習における児童のかかわり合いには、以下のようなことが必要であると考えた。

- ①友達の動き（技）を見る。
- ②うまくできている子とうまくできない子の違いに気付く。
- ③どうしたらうまくいくのか（コツ）を考える。

中学年では、まず①友達の動き（技）を見るために視点をしっかりと伝えるということが大切であると考えた。次に②うまくできている子とうまくできない子を見比べさせ、何が違うかを分析させることが大切であると考えた。最後に③どうしたらうまくいくのか（コツ）をで考えることが大切な学習であると考えた。そこで以下の様な手だてを考えた。

視点を伝えるための工夫

例えば、横跳び越しの際に目線とお尻（腰）の高さを見合わせたいと考えた。その際、「目〇!」「腰△」等の伝え方を教える。また、うまく伝えられない児童または正しく伝わらない児童には、カード（絵）を用意し、子ども達がそれを見せて、伝えるようにする。

教師の言葉掛け

学習全体を通して、友達の動きを意識させるように教師が継続して言葉掛けをしていく。また、友達にきちんと伝え、成果が見られたグループを見つけ全体に伝えていくようにする。

以上のような働きかけを継続することで、児童がより豊かにかかわり合いながら、共に学ぶ楽しさを味わい学習を進めていくことができると考えた。

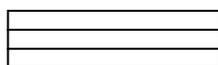
(4) 場の工夫

①ねこちゃん体操などを行うため、マットを2枚（3枚）つなげるようにする。

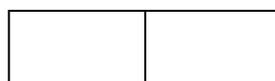


②台上前転ができない児童に対しての場

ア 重ねたマット

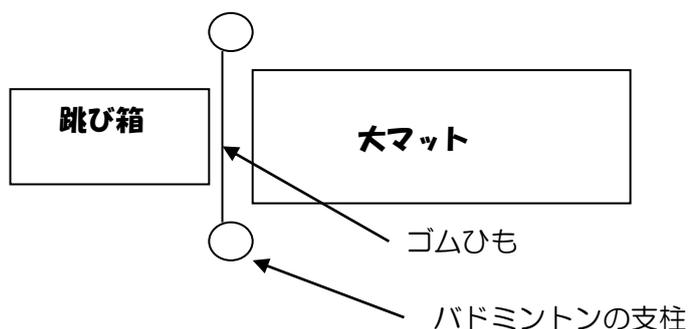


イ 連結跳び箱



*後ろの跳び箱の上に立ち、前の跳び箱に手を着く

③大きな台上前転（膝を伸ばした）にするための場



④けが防止及び安心感を与えるための場の工夫

- ・跳び箱の左右に小マット（中マット）を置く。（ねこちゃん体操で使ったものなど）
- ・首はね跳びの着地用マットの上に鉄棒マットを置く。
- ・跳び箱の上に小マットをかぶせる。

(5) ICT の活用

授業で撮影した動画を給食の時間や休み時間に教室で見て、自分の動きを分析するようにした。

3. 学習過程（全8時間）

ねらい	基礎感覚学習の進め方を知り、開脚跳びに必要な運動について理解する。	台上前転のポイントについて理解し、自分の課題を発見する。	コツを生かして動きを高めるために、自分の課題を把握し、課題に合った場を選んで練習に取り組むことができる。	これまで学習したことを生かして、発展的な技に挑戦する。
	① オリエンテーション	② 台上前転・ネックスプリング		
時	1	2・3・	4・5	6・7
学習活動	1 めあての確認 2 学習の約束 学習の進め方の確認 3 準備運動 4 ねこちゃん体操 5 できる技に挑戦する(横跳びこし) 6 話合い [大きな台上前転の動きを見る] →動画を見る・教師が実演 7 振り返り	1 めあての確認 2 準備運動 3 ねこちゃん体操 4 横跳びこし 5 台上前転のコツを発見する 6 話合い [発見したコツについて話し合う] 7 課題に合った場で台上前転や大きな台上前転に挑戦する 8 整理運動 9 振り返り	1 めあての確認 2 準備運動 3 ねこちゃん体操 4 横跳びこし 5 大きな台上前転のコツを発見する 6 話合い [発見したコツについて話し合う] 7 課題に合った場で大きな台上前転や発展技に挑戦する 8 整理運動 9 振り返り	1 めあての確認 2 準備運動 3 ねこちゃん体操 4 横跳びこし 5 自分が選んだ技のコツを発見する 6 話合い [自分や友達の高まりを確認する] 7 課題に合った場で自分の力に合った技に挑戦する 8 整理運動 9 振り返り
【課題に合った練習の場】 ①重ねたマットへの前転 ②連結跳び箱上での前転 ③縦置き跳び箱での前転 ④ゴム紐を張った場 ⑤跳び箱横向きの場 ⑥ステージからの回り(はね)下りの場 ⑦連結跳び箱からの首はね下りの場				

4. 本時の授業

- ① 主題名 跳び箱（台上前転・首はね跳び）
- ② 本時の目標
自分の課題を把握して、課題に合った場で練習に取り組むことで、課題を克服するためのコツを理解することができる。
- ③ 本時の展開

	○学習活動 ・児童生徒の反応	●指導上の留意点 ◆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○集合・整列・挨拶をする ○場の準備をする。 ○準備体操をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●協力して安全に準備できるように声掛けする。 ●各部の曲げ伸ばし等を意識して運動するよう声掛けする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> 自分に合った場で練習し、課題を克服するためのコツを見つけよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ねこちゃん体操をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ねこちゃんのフー・ハー ・アンテナからのブリッジ ○横跳びの練習をする。 ○課題に合った場で、練習する。 ○動画で自分の動きを確認し、成功例とのちがいをを見つける。 ○発見したコツを意識して、もう一度練習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナからブリッジの時に背中、お尻がマットにつかないように、声掛けする。 ●跳ぶ前に横跳びのポイント2つを確認させる。 ●怖さを感じる児童には、低くやわらかいものを使用した場を設定する。 ●動画を確認する前に、見る視点を伝え、そこがどのように違うのか考えさせる。 ◆自分と成功例の違いを比べて、コツを見つけている ●コツを意識して、取り組んでいるか確認させるためタブレットで録画する。（この動画は休み時間・給食の時間に見せて確認させる）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の練習を振り返り、次時の見通しを持つ。 ○後片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●技のコツや友達のよさを見つけられた児童や、教え合いができた児童らをクラス全体に広げる。 ●協力して安全に後片付けできるように、声掛けする。

